

## フューチャーセッション体験

『フューチャーセンターをつくろう』を読んで以来、体験してみたかったフューチャーセッションに参加しました。ワクワクする経験となりました。

### ☆フューチャーセッションとは？

未来を描き、未来の姿になっているためには、これから何をしていくのかを多様な参加者とともに考えます。バックキャストと呼ばれています。

手法は、数ある対話の方法をアレンジしたものです。ただ、はじめにバックキャストのレクチャーをして参加者に未来を意識してもらうこと、いろいろな関心をもつ人々を集めることでその本領が発揮されることが特徴です。



### ☆参加してみて

名古屋、堀川沿いにできたフューチャーセンターで行われたセッションとNPO法人日本ファシリテーション協会（FAJ）の定例会で行われたセッションに参加しました。ファシリテーターは同じ方でした。

フューチャーセンターでの参加者は、フューチャーセンターを管理運営する団体の方々、FAJの方々、フューチャーセンターに興味のある方が集まりました。想いが近い人々が集まって、グループワークをしたのですが、このときの話し合いは、とてもクリエイティブで実行が伴うものとなりました。「私も何かしたい！」と行動をおこさずにいられない様な気分になりました。

### ☆未来にむけて

行動が伴うような話し合いは貴重です。しかもそれは、自分たちの描いた未来を実現させるきっかけとなる話し合いなのです。その中で、実現のための行動を起こす仲間ができます。被災地でも行われているフューチャーセッションの意味が納得できます。

自らつくる未来の種を蒔いて、育てていたらステキです。そのお手伝いをしたいと心から湧いてくるものがありました。